

月刊 7月、初夏から夏本番へ。暑中お見舞い申し上げます。

こちら情報部
yon.ichi.hachi.

創刊昭和55年5月5日
第398号
【通巻399号】

発行所 まんいちほち
〒418-0063
富士宮市若の宮町140(きうちんさつ内)
TEL 0544 24-1515
E-mail: printkiuchi@space.ocn.ne.jp

印刷所 株式会社 きうちんさつ

次号は 8月5日の発行です。発行数15,500部



近藤 博 (西町)

くらしの中の言葉から

浴衣

暑い季節になってきました。海水浴や夏祭り、花火大会など、楽しいイベントが目白押しのお出かけに、もう夏休みのお出かけに、計画を立てている人も多いのでは。

夏のファッションとして、今や浴衣は定番中の定番ですが、最近、若い人の浴衣姿を、以前よりもよく目にするようになった気がいたします。

売場をのぞいてみると、今では素材が様々な上、着付けも簡単になり、絵柄もカラフルになってきているようです。なかには、丈が短いものや、帯が花や蝶のようになっているものなど、も昔ながらの浴衣の概念とは違うようなものも多く売られています。

また、浴衣に角帯を合わせ

せる男性や、サマーブーツを履く女性など、その着こなしにも変化が見られるようです。

平安時代に誕生し、戦国時代ぐらいたまには人前に出ることが考えられなかった浴衣が、江戸時代には入浴後に着て、出歩ける服装となり、さらに絵柄にも様々な流行ができたとのこと。

たかが浴衣と思われるかも知れませんが、そこには千年以上のファッションの歴史と知恵が詰まっているのです。

では、百年後、千年後の浴衣はどのようなものになるのでしょうか？そこには未だの日本の姿が投影されているのでしようね。

萬歳

何を書こうかな

授業現場

最近の高校生という訳でもないだろうが、とにかくプリントや教科書をよく忘れる。私は予備のプリントを常時、持参して授業へ行く。「今日はプリントの問題をやるよ。忘れたり、紛失した者は取りに来なさい」として、授業に入った。プリントの解説をして、問題を解かせていた。しばらくして、女子生徒が教卓の方へ向かって、「プリントありません」「私の腹の中は騒いだ」「さつき、言っただろ、取りに来なさいって」その途端、女の子の表情は鬼女となっていた。

女性の醜さが私を襲ってきた。もう駄目だと観念した私は黙って、プリントを手渡した。鬼女はひたたくようにして持ち去った。授業再開、プリントを理解してない彼女は出来るはずもなかった。私は「質問のある者は手を挙げなさい」と手を差し伸べた。鬼女は変身せず、頑なに机に向かい、顔を上げなかった。頭には角のようなものが出ていた。私には予備のプリントだけではないかと思っただけ。私は予備のプリントが必要だと感じていた。授業が終了、廊下に出ると、ある女子生徒が「先生、大変だね」と、そっと伝えてきた。私の心は、その瞬間和らいでいた。

望月 勝

マンスリーエッセイ

夏

また今年も夏がやってきた。暑いのが大の苦手である私はとても憂鬱になってしまふ。アメリカのよまうに湿度がなければ、高温になってもそれほど気にならないのだが、湿度があるともう駄目である。また暑い時に飲むと美味し

いビールだが、もう数年前に私は飲むのをやめてしまったので、これから頻りにテレビで放映される宣伝も私にとっては拷問に等しい。ところで暑がりの私はこれからの季節エアコンの世話になることが多くなるが、その際にエアコンの環境に對する影響についても考え

夏は涼しく

きょう日、旅へ出る時は、事前にインターネットの「食べログ」で調べ、不安と期待感につつまれて現地へ趣く。開店して間もない堺市の「味所望」の御主人は、かつて大阪吉兆の板長をされていたとあって、さすがに旬を大切にされ、夏(季)の彩りを添えたあしらいを目で楽しむ。因みに、「所望」とは、何かがほしい、何かをしてほしいと望み願うこと。望み。注文。(「広辞苑」)

一現としては、望むよりは おまかせ の料理に、都度、固唾を飲み、あたかも「求不得苦」(仏教)すなわち、自分の欲求するものを得られない苦しみから、しばらく解き解かれた観が。――食のすすむ中、相席の方より、「富士山」の話題が切り出され、今般、晴れて「富士山」の世界文化遺産登録の決定を祝い、同杯を上げる。

ところで、堺は千利休が生まれたまちで、利休七則の中に「夏は涼しく」という言葉があります。

「夏は涼しく」といかににも平易で、あたりまえなことには聞こえますが、(中略)日本人は昔から、自然の中に融けこみ、ともに生きようとする人々が多い。そういう人々にこそ、自然の中にそのいちばんそれらしい味わいを見つけ出して風流とし、憩いの場をもつことができるのです。

――(千宗室著「茶のこころ 一日一話」、PHP)

さて、季節せによれば、「夏座敷」は、障子や襖を取り外し、風通りをよくし、室内装飾も取りかえ、見るからに夏らしくなった座敷をいう。

目下、エアコンに頼りきって生活している私たちは、風鈴や簾、打ち水に涼を感じる繊細な美的感覚はどこへやら。時には、軒場に風鈴を釣って、湯上がりの清々しい気分のまま、縁先から打ち水された草花を眺めている風情は、さながら涼しさを演出する夏仕立てともいえよう。

KEN

胡瓜もみ季をあしらふ母の影



角田 猛夫

静岡県立朝霧野外活動センター
「プラネタリウム一般開放」
～富士彩彩(富士山の自然・文化)と夏の星空～
家族で夏の夜空を楽しもう!

日時:21日
1部 13:15～受付 13:30～14:30上映
2部 15:00～受付 15:15～16:15上映
場所:静岡県立朝霧野外活動センター
対象:ご家族など一般の方
参加費:無料
定員:各回90名(要予約)
申込方法:お電話にてご予約ください。
詳細は後日センターHPにて発表いたします。
TEL:0544-52-0321 HP:http://asagiri.camping.or.jp/index.html

